

環境活動報告 2012 年度



成蹊学園の環境側面

環境側面とは、成蹊学園が教育研究を進めていく上で環境と相互に関係しうる内容のことです。

たとえば、環境保全に関する教科を設置すると「プラスの環境側面」、電気や紙を使用すると「マイナスの環境側面」となります。



プラスの環境側面

環境方針	著しい環境側面	目的 2011 ～ 2013 年度	目標 2012 年度	達成状況
環境問題に貢献する人材育成 および環境分野の研究推進	環境教育・学習プログラム の提供	小・中高・大学における環境教育・学 習を推進する。	小・中高・大学における環境教育・ 学習の機会を増やし、充実させる。	○
環境問題に貢献する人材育成 および環境分野の研究推進	環境関係の研究の実施	中高・大学における環境関係の研究を 充実させる。	中高・大学における環境関係の研究を さらに増やし充実させる。	○
環境に関する教育研究の発進・ 公開、社会貢献を図る諸活動	環境問題に対する理解 と関心の向上	学園における環境教育・学習について、 発信・公開するとともに自らの環境へ の意識を高める。	学園における環境教育・学習について、 発信・公開するとともに自らの環境へ の意識を高める。	○
近隣地域とのコミュニケー ションを図る	地域とのコミュニ ケーション	地域社会とのコミュニケーションのさ らなる充実を図る。	地域社会とのコミュニケーションの さらなる充実を図る。	○
みどり豊かなキャンパスの充 実と環境に配慮したキャンパ スづくり	環境の整備・緑の保 全・充実	キャンパスの緑の維持と適正な計画に よる整備・充実を図る。	キャンパスの緑の維持と適正な計画 による整備・充実を図る。	○
みどり豊かなキャンパスの充 実と環境に配慮したキャンパ スづくり	環境負荷低減への配慮	環境負荷低減に配慮した施設・設備の 導入と備品及び物品等の調達を進める。	環境負荷低減に配慮した施設・設備の 導入と備品及び物品等の調達を進める。	○
みどり豊かなキャンパスの充 実と環境に配慮したキャンパ スづくり	エコ空間の創造	環境活動と調和のとれた空間づくりを 進める。	学園の事業活動（教育、研究等）とバ ランスのとれた環境活動に取り組む。	○
みどり豊かなキャンパスの充 実と環境に配慮したキャンパ スづくり	省資源化	省資源化による環境に配慮したキャン パスづくりを進める。	省資源化による環境に配慮したキャン パスづくりを進める。	○



マイナスの環境側面

環境方針	著しい環境側面	目的 2011 ～ 2013 年度	目標 2012 年度	達成状況
環境負荷の低減と環境汚 染の防止（省エネルギー）	電力・ガスの 使用	電気・ガス使用量の削減 基準値（2008 ～ 2010 年度実績の平均）に 対し 3 年間で 1%削減（3 年平均）	電気・ガス使用量を基準値（2008 ～ 2010 年 度年度実績の平均値）に対し、1%削減する。	電気：○ ガス：○
環境負荷の低減と環境汚 染の防止（省資源）	水の使用	水の使用量の削減 基準値（2008 ～ 2010 年度実績の平均）に 対し 3 年間で 1%削減（3 年平均）	水の使用量を基準値（2008 ～ 2010 年度年度 実績の平均値）に対し、1%削減する。	○
環境負荷の低減と環境汚 染の防止（省資源）	紙の使用	紙の使用量の削減 基準値（2008 ～ 2010 年度実績の平均）に 対し 3 年間で 1%削減（3 年平均）	紙の使用量を基準値（2008 ～ 2010 年度年度 実績の平均値）に対し、1%削減する。	○
環境負荷の低減と環境汚 染の防止（廃棄物の減量）	使い捨て物品 の使用	使い捨て容器・割り箸・レジ袋・文具の 削減	使い捨て容器・割り箸・レジ袋・文具の削減 を手順に基づいて実施する。	○ ※1
環境負荷の低減と環境汚 染の防止	製品の購入	グリーン購入の取組みを促進する。	事務用品の購入金額に占めるグリーン購入の 割合を前年度より増やす。	○

※1 数値の測定は割り箸のみ実施。



学校法人成蹊学園

【活動内容】

2011 年度にスタートした新環境 3 ヶ年計画を推進します。
特に、空調・照明設備の改修と樹木整備は継続的に実施します。

- 学園の樹木をはじめとする自然環境の保全・整備を達成します。
- 東京都環境確保条例に定められた CO2 削減目標を達成します。
- 環境に配慮した施設・設備の整備をします。
- 学園創立 100 周年記念事業として取り組む環境活動を進めます。



学園創立 100 周年記念式典での展示の様子

【活動内容】

学園創立 100 周年記念事業の一環で、学園関係者を対象に学園内の自然環境を表現する写真コンクール「フォトコンテスト」の作品を募集し、応募者数 135 名 298 作品の中から入賞・入選作品を、2012 年 5 月 12 日の東京国際フォーラムで行われた「学園創立 100 周年記念式典」にて展示しました。また、学園の環境活動を紹介したパネルも合わせて展示しました。

9 月には、ISO14001 の認証継続を審査する外部審査が行われ、「この一年間、EMS 活動への積極的な取り組みが継続されている。」との高評価をいただき、無事認証継続 5 年目に入ることができました。

11 月には、大学生を対象にウォームビズ周知のためのポスターデザインを募集し、3 点を優秀賞として採用しました。

成蹊小学校

【活動内容】

- 野菜の栽培から調理までの一貫した食農教育を全学年で押し進めます。
- 教科学習や桃の会活動等を通して、環境への意識をより高めていきます。
- 毎日の全校清掃時間を確保し、共に力を合わせて校内の美化をめざします。



エコバッグに絵を描く様子

【活動内容】

小学校には「こみち科」という 1 年生から 6 年生まで学習する科目があります。その中で、「環境を守る活動」・「野菜や穀物の栽培」についても段階をおって学習しています。エネルギーの問題・環境負荷など、自らが行動して環境を守ることを実習を通して学びます。写真は、布一枚から縫製したエコバッグに絵を描いているところです。このバッグは実際に使って、自分がどのぐらいレジ袋をもらわずに生活できたか、排出しなかった CO2 はどのぐらいだったかを計算します。

また、学校桃の会環境委員会では、年に 2 回「環境パトロール」を実施して、全校児童が具体的なエネルギー節約の行動ができるように活動しています。

成蹊中学校・高等学校

【活動内容】

- 授業や行事において環境に関する教育を充実させます。
- 生徒会を中心として、リサイクルなど、環境に関わる活動を推進します。
- 施設や備品を長く大切に使い資源の有効活用と環境美化に努めます。



蹊祭ゴミステーション

【活動内容】

各教科で環境に関する授業を展開し、自然観察会や宿泊行事、気象観測等を通じて、環境について考えました。日頃から敷地内の緑化を推進し、緑の保全に努めています。

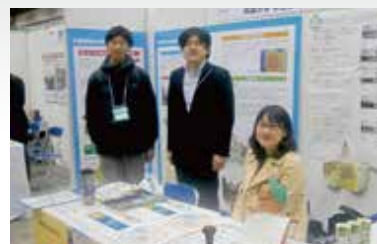
特に、文化祭では中学実行委員を中心にペットボトルアートを作成したり、高校生徒会中心に、ゴミステーション設置やゴミ自体の削減の工夫を続けたりしています。

成蹊大学

[法学部・経済学部・文学部]

【活動内容】

- 学内の環境活動の活性化を図り、学生と教職員が協働して取り組む姿勢の醸成を図ります。
- 省資源化のための情報リテラシーの促進に努めます。



エコプロダクツ 2012 での出典の様子

【活動内容】

学生環境委員会が、日本最大級の環境展示会「エコプロダクツ 2012」に学園と共同出展し、本学の取り組みについて広く PR を行いました。各学部における初年次ゼミや情報リテラシー教育を各教員が推進し、4月の「環境ウィーク」では「両面・集約印刷の徹底」を謳ったポスターの掲示や学生への指導に取り組むと共に、学生環境委員会を中心に、情報図書館内に両面・集約の印刷方法を解説したカードの掲示やアンケート調査を実施しました。

[理工学部]

【活動内容】

- 環境に関するプロジェクトで得られた多くの研究成果を広く公表していきます。
- 成蹊教養カリキュラムの中で全学部学生を対象にした「環境の科学」の講義を行います。
- 学園全体で薬品や高圧ガスの使用量や貯蔵量に関する管理を法令順守の観点に基づき実施します。



情報図書館内の環境コーナー

【活動内容】

理工学部では、2008 度～ 2012 年度に文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業補助金に基づき「人と環境にやさしい統合化された社会システム研究基盤整備」をテーマとした研究プロジェクトを行い、多くの研究成果を公表し、2012 年度はその最終年にあたるため、プロジェクトの最終報告を行いました。

また、大学情報図書館内に環境コーナーを設け、環境に関する図書を閲覧しやすいようにしています。

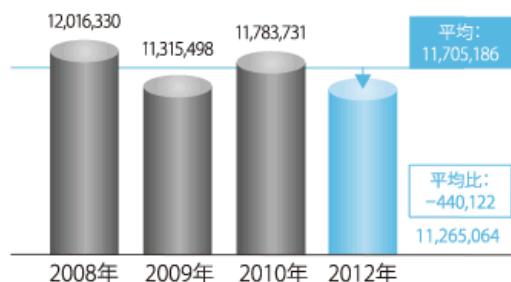
エネルギー消費状況／用紙使用量

2012年学園全体のエネルギー使用状況

学園では、エネルギー使用量の削減のために、省エネ機器の導入・更新を進めており、運用面においてもクールビズやウォームビズに対応した温度設定（夏：28度、冬：20度）を徹底しています。また、電気・ガス・水道使用量については、2008～2010年度実績の平均値に対し3年間（2011～2013年度）で1%削減（3年平均）という削減目標を設定しています。

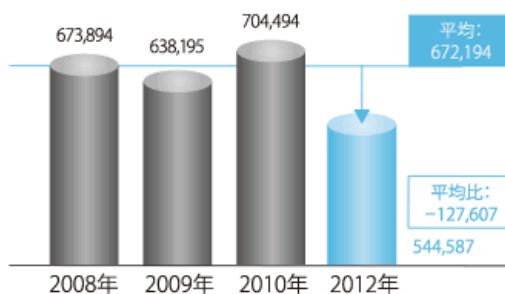
電気使用量（kwh）

建物やグラウンドの照明や冷暖房設備（一部）に使用しています。2012年は2008～2010年の平均値に対し、3.76%削減しました。
※実際の削減目標は、年度実績です。



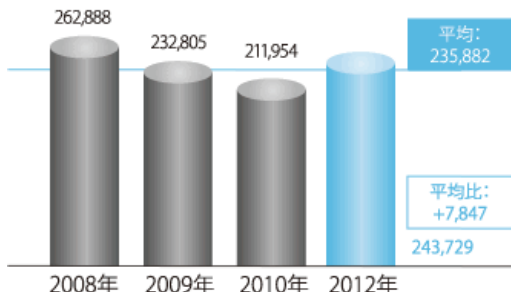
ガス使用量（m3）

冷暖房設備のほとんどはガス（GHP方式）を使用しています。2012年は2008～2012年の平均値に対し、18.98%削減しました。
※実際の削減目標は、年度実績です。



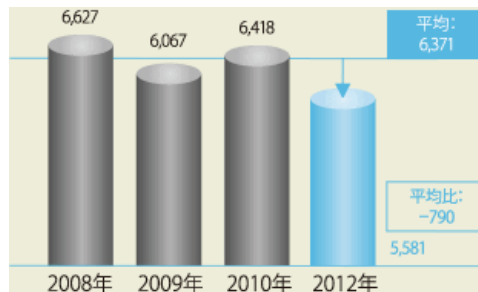
水道使用量（m3）

各学校キャンパスにある建物や食堂の水として使用しています。2012年は2008～2012年の平均値に対し、3.33%増加しました。
※実際の削減目標は、年度実績です。



CO₂ 換算排出量（tCO₂）

学園で使用しているエネルギー（電気、ガス、灯油、LPG）の使用量をCO₂排出量に換算し、合算した値です。削減目標は設定していませんが、2012年は2008～2012年の平均値に対し、12.40%削減しました。



2012年は、電気及びガス使用量は基準値に対して1%以上削減できました。電気は、東日本大震災以降の節電の取り組みが継続されているため、減少しました。ガスは、大学の教室棟用の空調熱源をガス式から電気式に改修したため減少しました。一方、水道使用量は、基準値を上回る結果となりました。原因は、工事用散水および埋設給水管からの漏水です。

2012年度エネルギー消費状況

<https://www.seikei.ac.jp/gakuen/kankyo/data/data2012.pdf>

CO₂ 換算データ

<https://www.seikei.ac.jp/gakuen/kankyo/data/yeardata.pdf>

2012年学園全体の用紙使用状況

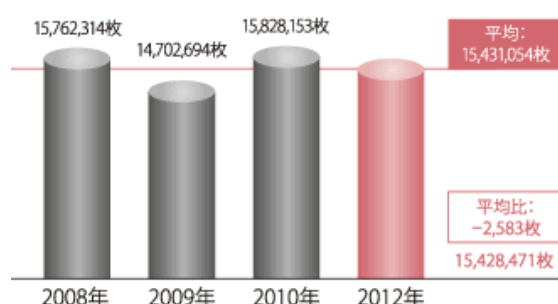
学園では、用紙使用量の削減のために、両面コピーや電子データの使用を徹底しています。また、2008～2010年度実績の平均値に対し3年間（2011～2013年度）で1%削減（3年平均）という削減目標を設定しています。2012年は、0.02%削減しました。

※実際の削減目標は、年度実績です。

※2008年4月より計測を開始したため、2008年の値のみ年度実績です。

2012年度用紙使用量

<https://www.seikei.ac.jp/gakuen/kankyo/data/paperdata2012.pdf>





① 大学5号館教室照明改修

教室の照明器具 114 台を、従来より高効率である Hf32W 型および 86W 型の蛍光灯に改修しました。



② 大学体育館アリーナ 照明器具改修

アリーナの照明器具を、従来の水銀灯から、より高効率である無電極点灯方式の器具に改修しました。



③ けやき並木 街灯照明器具改修

夜間点灯するけやき並木の街灯を、従来の水銀灯からより高効率である無電極点灯方式の器具に改修しました。